



きつと、ここから

看護師募集案内

独立行政法人国立病院機構
さいがた医療センター

光がさす方へ

基本理念

「良い医療を安全に、心をこめて」

私たちは、精神科、脳神経内科、重症心身障害、医療観察法の4つの政策医療を担っています。

さいがた医療センターは、昭和18年、日本医療団により創設され、昭和23年に厚生省に移管、昭和26年に国立犀潟療養所として発足しました。平成16年に独立行政法人国立病院機構さいがた病院となり、平成25年に現在の「さいがた医療センター」へ改称しました。

精神科では精神科急性期医療や司法精神医療などの専門性の高い医療を提供しています。令和元年には、新潟県依存症専門医療機関、依存症治療拠点機関の指定を受け、アルコール・薬物・ギャンブル・ネット・ゲームなどの様々な依存症医療の中心的な役割を担っています。さらに令和3年には、新潟県災害拠点精神科病院にも指定され、DPAT隊を編成し、災害時の精神医療の中心として地域にも貢献しています。

脳神経内科では、パーキンソン病や筋萎縮性側索硬化症などの神経難病の医療を提供しています。令和3年には難病センターが設置され、病状が進行し重症化した方を積極的に受け入れ、質の高い医療を提供しています。

重症心身障害医療では、療養介護事業所として契約入院を受け入れています。特に重度・最重度精神遅滞を伴う強度行動障害に対する医療が特徴的で、精神科と連携し、行動療法的な介入を実施しています。

看護部理念

私たちは大切にします。「看護師の責務」と「誠実なところ」

【理想とする姿】

- 看護の専門職として成長し続けます。
- 患者の立場に立ち、誠実に看護を実践します。
- 質の高い看護を追求し続けます。

【看護部の使命】

- 多職種および地域と連携し、患者ニーズへ対応します。
- 創造性・主体性・専門性の高い看護師を育成します。
- 研究的な視点により、看護の発展に貢献します。

私たちは、患者さんの笑顔や回復していく姿をみると、看護師になって良かったと実感します。その笑顔や回復を支えるために、私たちは看護のプロフェッショナルとして、常に質の高い看護を追求していかねばなりません。看護師としての誇りを持ち、看護の専門性を発揮し、質の高い看護を提供することで患者さんの回復を支え、患者さんが笑顔になる。これが「看護師の責務」であると考えています。

「看護師の責務」を果たすために、看護師は「誠実なところ」を持たねばなりません。質の高い看護は、患者さんとの信頼関係のもとに成り立ちます。看護の誠実さがなければ信頼関係は築けません。患者さんに対して、ご家族に対して、同僚に対して、他職種に対して、地域に対して、仕事や役割に対して、常に誠実であること。「誠実なところ」は私たちが看護を実践するうえで、なくてはならない大切な「ところ」です。

私たちは、「看護師の責務」と「誠実なところ」を大切に、質の高い看護を追求し続けます。

21病棟 医療観察法病棟

対象者の希望から出発。対象者と共に創る、リカバリーを促進する治療・支援



看護師 高橋さん

医療観察法病棟では、多職種で対象者の社会復帰支援を行っています。その多職種の中でも、対象者にとって一番身近な存在であるのは看護師です。「看護師は、手をたずさえそれぞれの道を共に創る伴走者であれ!」をモットーに看護を行っています。

15病棟・16病棟 脳神経内科病棟

多職種と協力し、患者さん・ご家族に寄り添った看護を提供します



看護師 池田さん
(難病看護学会認定看護師)

パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症などの神経難病や、脳血管疾患や認知症、血液内科疾患など様々な患者さんが入院されています。多くの疾患の知識、看護技術を学べます。患者さんやご家族の気持ちに寄り添った看護を大切にし、個別のニーズに合わせた意思決定支援や退院支援など幅広い看護を行っています。

東2病棟 重症心障がい児(者)病棟

五感を使った観察と患者さんに寄り添うケアを実践します

重度知的障害と肢体不自由が重複した患者様が入院している重症心身障害児(者)病棟です。人工呼吸器管理・経管栄養等の医療的ケアや日常生活援助全般の看護実践を行っています。患者さんの小さな変化を見逃さない観察を大切にして日々のケアを行っています。在宅支援として短期入所の受け入れも積極的に行っています。



看護師 佐藤さん

東1病棟 重症心障がい児(者)病棟

患者さんの持っている力や良い面を伸ばす看護にやりがいを感じます



副看護師長 山口さん
(摂食嚥下障害看護認定看護師)

強度行動障害児(者)に対して、多職種と協働して専門的治療を行い、患者さんがよりよい生活ができるように、あらゆる場面を通し、情緒面の成長発達につながるような支援をしています。また、地域の患者さん、ご家族を支える医療型短期入所事業も行っています。

南2病棟 精神科慢性期病棟

必ず地域移行に結び付けます

私たちは諦めない

統合失調症や双極性障害、認知症の方が入院されています。治療抵抗性統合失調症の方に対し、m-ECTやクロザピンなど専門的な治療を実施しています。さらに、患者さんが安心して地域で生活を送れるように、多職種が連携して疾病教育、SST、作業療法など多様なプログラムを提供しています。



副看護師長 佐藤さん

南1病棟 精神急性期病棟

あなたの個性がストレンクスとして活かせる病棟です



看護師 嶋田さん

精神科の急性期治療から依存症治療まで幅広く入院治療を実践しています。時代と共に患者さんのニーズやライフスタイルが変化している中で、私たち南1病棟スタッフは、皆様から求められる看護が提供できるように、日々進化する病棟を目指しています。

デイケア病棟

自立に向かってサポートします



精神疾患により入院を経て自宅等に退院された方が、規則正しい生活を送るために通っています。スタッフは、社会適応の手伝いができるように、利用者の能力を伸ばしつつ寄り添いながら、心地よい環境提供に取り組んでいます。新たなプログラムの導入も検討しているところです。

訪問看護ステーション

利用者と家族の地域生活を
支えるために伴走します

私たちは精神障害を持つ方が家庭や地域でその人らしさを尊重し、夢や希望に近づけるよう寄り添い支援することを目的として、精神科訪問看護を実施しています。他の疾患と比べ、精神科疾患は服薬治療が中心となるため、コミュニケーションを丁寧に行うことを通して信頼関係を構築し、看護を提供しています。



看護師長 平さん

Advancement & Development

看護師一人一人をととても大切に育成し、共に歩んでいます。

当院は全国に140病院を有する、日本最大規模の病院グループ 国立病院機構NHO に属し、その連携の中でのキャリアパス制度を元に、全看護職を対象にした看護能力開発プログラム「ACTyナースVer.2」と、看護管理者として必要な能力を育成するプログラム「CREATE」の2つの院内教育プログラムによって職場での機会教育と連動させ学習した内容が実践に活かせるようにしています。

また、プリセプターがマンツーマンで関わり、支援し、先輩看護職員がひとりひとりをととても大切に育成するなど、サポート体制が充実しています。

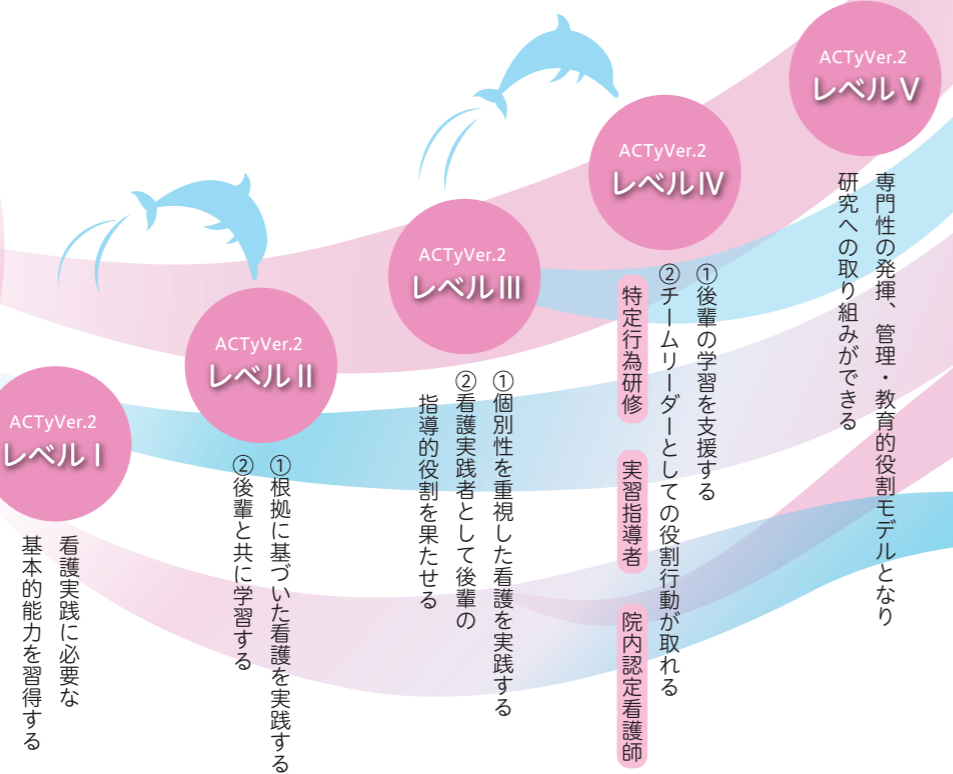
看護実践者の育成

看護職員能力開発プログラム
ACTy ナース Ver.2 とは

国立病院機構の全ての病院で統一された能力開発プログラムです。国立病院機構が目ざす看護師像を、ACTyナースと呼びます。

「看護職員能力開発プログラム」によって学び、理論と技術をもって実践し看護を創造する看護師がACTyナースです。多様な学習の機会を活用し、日々の看護実践を振り返り現場にフィードバックするということを繰り返しながら、ACTyナースへの成長を目指し着実にステップアップします。

- Art..... 高度な専門的知識・技術
- Create..... 研究的に看護を創造
- Caring..... 質の高い看護の提供
- Coordinate .. 看護におけるマネジメント
- Coaching..... 後輩と共に学び、自律した看護職
- Teamwork.... 多職種との協働
- Theory..... 理論に基づき主体的に実践



さらに学びを深める

大学院

キャリアアップを目指しやすい環境です

日々の看護実践のなかで生じる疑問を研究的な(学術的な)視点で考え、学びを深めたいと思い、大学院進学を決めました。働きながら修学しやすい環境を病院で作ってもらえています。病院全体でキャリアアップを応援してくれる雰囲気があるのでとても心強いです。



副看護師長
村山さん
(国立病院機構
千葉医療センター
附属看護学校卒業生)

看護教員

看護学校の教員を目指すための研修が受講可能です。

看護管理者

ActyレベルVで管理者を目指すための研修が受講可能です。

専門看護師

大学院で専門看護師を目指すために研究休職が利用可能です。

さらに様々な資格でSTEP UP

DPAT

災害派遣精神医療チーム

DPAT 隊として活躍するために国や県主催の研修を受講可能です。自然災害や航空機・列車事故、犯罪事件などの集団災害の後、被災地域に入り、精神医療および精神保健活動の支援を行う専門的なチームです。院内の研修や災害訓練でも活躍しています。



認定看護師

【認定看護師】
働きながら認定看護師教育課程を受講可能です。当院には、日本看護協会の「感染管理認定看護師」「認知症看護認定看護師」「摂食嚥下障害看護認定看護師」および日本精神科看護協会の「精神科認定看護師」、日本難病看護学会の「難病看護師」が活躍しています。当院の看護の質向上に向けた活動はもちろん、市民公開講座など地域にも貢献しています。

【院内認定看護師】
認定看護師による1年間の研修を受講し、試験に合格すると院内認定看護師の資格が得られます。認定看護師とともに、看護の質向上に向けて取り組んでいます。現在「認知症看護院内認定看護師」「感染管理院内認定看護師」「難治性統合失調症看護院内認定看護師」が臨床で活躍しています。



キャリアアップへの支援実績

- 専門・認定看護師等
- 感染管理認定看護師 2名
- 精神科看護認定看護師 1名
- 認知症看護認定看護師 1名
- 令和3年度キャリアアップ
特定行為研修 1名 / 難病看護師 1名
- 令和4年度キャリアアップ
特定行為研修 2名 / 摂食嚥下障害看護認定 1名

Mission

看護師としての1日

看護師になるということは、専門職としての責任をもつこと。1日を通して、患者さんに質の高いケアを届けること。看護師1年目は、看護師としての自覚をもち、力を発揮できるように、新しい生活リズムに慣れていくことが大切です。

日勤勤務 →

8:30 9:00 10:00 11:00 11:45 13:30 14:30 16:00 16:40

夜勤勤務 →

16:40 17:00 18:00 20:00 21:00 0:30

深夜勤務 →

0:30 6:00 6:30 7:30 8:30

日勤開始

申し送り
情報収集
カンファレンス

環境整備
排泄介助
整容

検温 処置
個別ケア
療育活動

昼食介助
個別ケア
療育活動

昼食介助

個別ケア

排泄介助

夕食介助

夜勤開始

申し送り
情報収集
カンファレンス

夕食介助
経管栄養
排泄介助
入室誘導

検温

就寝前投与

消灯

深夜勤務開始

申し送り
情報収集
カンファレンス

モーニングケア

朝食介助
経管栄養

申し送り

情報収集
カンファレンス

金井さん
(上武大学卒業生)



自分の成長を感じています!

レベルI受講中
佐藤さん(上越看護専門学校卒業生)

私は、重症心身障害児(者)病棟に勤務しています。入院患者さんは長期間の療養をされており、一人ひとりとゆっくり関わり、対象理解を深めることができます。先輩方からのフォローや優しく丁寧な指導によって日々の学びが深まるため、自身の成長を強く感じることができます。ぜひ、皆さんも一緒に働いてみませんか?

研修カリキュラムが充実しています

レベルII受講中
井出さん(新潟県立看護大学卒業生)

当院のラダー研修では、一年目から看護倫理や、吸引・採血・注射といった基本的な看護技術について学ぶことができます。他にも患者さんとの対応で困ったことや、どうすればより良い看護といえるか、その人らしさとは何か、グループ討議を通して様々な看護の視点を学ぶことができ、病棟で患者様とのコミュニケーションで活かすことができました。

患者さんとじっくり関わるのがやりがいにつながります

レベルI受講中
高橋さん(新潟病院附属看護学校卒業生)

私は医療観察法病棟に勤務しています。多職種と連携して対象者が社会復帰できるよう支援しています。また、先輩方の手厚い指導やフォローのおかげで、対象者一人ひとりに寄り添いながらじっくり向き合い、対象者との関わり方や看護のあり方を学ぶことができます。一緒に働きながら共に学んでいける仲間を待っています。



Work & Life

日常生活が充実していることは、良い仕事をするための大切な要素です。

さいがた医療センターの所在地である上越市は、海と山に囲まれた四季それぞれの良さを感じられるとても生活しやすい環境にあります。マリンスポーツ、ウィンタースポーツ、おいしいお米とお魚、おいしいお酒、温泉など日頃の疲れを癒やしてくれます。国立病院機構ならではの安心して働ける労働環境も魅力のひとつです。

NHOグループのいいところ ～ 福利厚生 の充実 ～

- ・ 共済組合（短期給付事業）
出産費、高額療養費、傷病手当金などのほか、診療費の一部負担払戻しなど共済組合独自の給付制度
- ・ 共済組合（長期給付事業） 厚生年金に加入することになります。
出産・育児のサポート / 出産・育児の手当の充実
出産・育児に関する休暇休業の保証 / 出産・育児に関する勤務軽減
- ・ 各種手当
夜間看護手当・夜勤手当 / 専門看護手当 / 住居手当 / 通勤手当



「子育て環境はストレス0です。」

妊娠から産前産後休暇、育児休業の期間延長など職場の皆さんに親身に対応してもらいました。復職後は育児時間を取得しながら働いています。子供の行事や急な体調不良でも休みやすい環境で助かっています。育児と仕事の両立は大変ですが周りのスタッフの温かいサポートを受けながら働くことができています。

（夫婦で勤務の岡田さん）

院内保育園 ～ 子育てを応援します ～

敷地内にあるので送迎がしやすく、近くにいるので安心です。

さいがた医療センター敷地内
保育時間 8:10～18:30
延長保育 (6:45～19:30)
休園日:第2第4土・日曜日



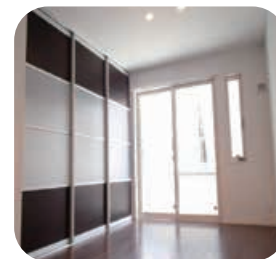
看護体制	10:1看護	看護師平均年齢(管理者除く)	35.4歳
看護職員数	200人	看護師年齢構成	各年代バランス良く在籍
夜勤体制	3交替制	看護師在職年数(管理者除く)	平均11.1年
勤務時間	日勤 8:30 ~ 17:15 準夜 16:30 ~ 1:15 深夜 0:30 ~ 9:15	男女比	女性66% 男性34%
看護方式	固定チーム継続受け持ち制	年休取得日数	10.5日
		離職率	3.4%
		新卒離職率	0%

日本看護協会認定看護師・日本精神科看護技術協会認定看護師など、専門分野で活躍する看護師を支援



宿舎 ～ 生活の基盤作りを支援します ～

さいがた医療センター敷地内
1LDK ウォークインクローゼット付きで収納もたっぷり。
バルコニーもついています。
敷地内なので通勤は安心です。





車で来院する場合

- 北陸自動車道大潟PA スマートIC (AM6:00~PM10:00)
より国道8号線直江津方面へ(約7分)
- 北陸自動車道上越 IC より国道8号線長岡方面へ(約20分)

電車で来院する場合

- 東京より上越新幹線→越後湯沢駅乗り換え
→ほくほく線→犀潟駅下車(徒歩約7分)
- 東京より北陸新幹線→上越妙高駅乗り換え
→えちごトキメキ鉄道妙高はねうまライン→直江津駅乗り換え
→信越本線・ほくほく線→犀潟駅下車(徒歩約7分)
- 新潟市より信越本線(特急)→直江津駅乗り換え
→信越本線・ほくほく線→犀潟駅下車(徒歩約7分)



Saigata Medical Center

独立行政法人国立病院機構

さいがた医療センター

〒949-3193 新潟県上越市大潟区屑瀧 468-1

<https://saigata.hosp.go.jp>

TEL 025-534-3131 FAX 025-534-4824

